

教団新報

定価 1部150円(本体137円+共21円)
予約購読料 1年分 千円 5,350円
紙代のみ 3,750円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 秋山 徹
編集主筆 嶋田 恵悟
印刷所 株式会社きかんし

2021年度 ④

大阪・東中国・総幹事総括

教区総会報告

定期、臨時いずれも書面で開催



新三役
左上から服部議長、中井副議長
木谷書記

新型コロナウイルス感染症拡大を予防するために第70回東中国教区総会及び第70総会期東中国教区臨時総会(選挙総会)を書面にて実施した。

東中国教区

臨時の選挙総会を書面にて実施

区運営にとって必要最小限の議案上程にとどめ書面において可決承認を得た。この中にはコロナ禍にありつつも引き続き委員会及び地区協議会などを円滑に運営するため、オンライン会議を主催する責任者に対して支援策を含んでいる。これにより新年度から教区の会議を開催する役職者には基本的にオンライン会議用アカウントが付与されることとなる。実際には、会議場所をオンライン参加者をつなぐハイブリッド形式が主流となっているが、世界的パンデ

ミックスを経験した上で、教区につながる方々とも知恵を集め、協議を続けていく仕組みのひとつとして活用していきたい。また、1969年来活動実態を持たなかった中国宇治伝道所と美作伝道所の廃止が2年越しの準備の末、可決承認された。主の立てられた共同体を廃止する手続き故、願わくは一堂に会して廃止手続きの承認を得ることを希望したが、今後ともながく集会の見通しが立たないためにこれにこれを上程し、諮らざるを得なかった。

また、7月1日から9月9日に亘る期間で実施した選挙総会では、服部修(番山町)総会議長、中井大介(倉敷、総社)副議長、木谷実(湖山)可決とした。教区「負担金総額算定に世帯所得の変化を反映させる件」が議員提案議案として出され、226中173の賛成で可決した。これは、新型コロナウイルス感染症が経済および教会・伝道所の礼拝や伝道に及ぼしている影響を鑑み、3年間、教会・伝道所の負担を軽減することを主旨としている。具体的な算定に関しては常置委員会に委ねられた。教区としても痛みある教会・伝道所と共に歩む道を模索し続けている。

5月24日には大阪クリスチャンセンターホールにて准允・按手を対面と書記が選出された。さきの第69総会期も半期以上はオンライン中心の協議を続けてきており、教区内での新しい協議と関わりを試みにもようやく順応しつつある。教区では将来的宣教ヴィジョンについての協議や、教会強化資金運用規定改訂など実施していくための課題が示されている。引き続き、主の宣教のために教区として求められていることに応えていきたいと願っている。

大阪教区

三役・常置委員任期延長



大阪クリスチャンセンターで

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第66回教区総会を書面決議にて開催(5月3日)した。和歌山県、奈良県、大阪府にある教会3会場をオンラインで繋いでの開催を目指し準備していたが、大阪府に「緊急事態宣言」が出され、やむなく書面開催となった。その際の議案では、三役および常置委員選挙実施を含む臨時総会を9月20日に対面開催することとしていた。しかし、コロナ感染状況の深刻化を受け止め、臨時総会も書面開催となった。尚、三役・常置委員選挙は次回定期総会にて行なう予定である。

従来定期総会で行なっていた召天者(2019・2020年度逝去者)記念礼拝を5月3日、大阪

21年度の各教区総会の開催状況が数回に亘って「教団新報」誌上で報告されました。例年教団問案使として教団四役が各教区総会に参加していましたが、非常事態が続いていたため、今年度もかきませんでした。また、教団新報の記者が取材をして記事にしていたが、昨年に引き続き各教区から報告していただいたものを記載する形となりました。

総幹事総括

教区総会開催状況を振り返って

秋山 徹

2019年度・2020年度の常置委員会報告、以下同様に、各部・各委員報告、教務及び教勢報告等の全議案を承認した。

お知らせ
「教団新報」今号を4960・61台併号とし、次号は11月27日に発行します。
総幹事 秋山 徹



教団会議室でオンライン面接

2021年

秋季教師検定試験

正教師46名、転入2名、補教師7名が受験

3回目のコロナ対応試験、周到な準備で実施

2021年秋季教師検定試験が8月31日よりレポート提出による学科試験、9月15日・16日にズームミーティングを用いてのオンライン面接試験として実施された。未だ収束しないコロナ禍を踏まえてのことである。

2020年秋季以来、3回目のレポートおよびオンラインでの試験となった。事務局の丁寧な準備があつて実施することのできる試験である。またコロナ禍にあつて委員も受験者もリモート会議が普通のこととなっている。周到な準備の結果ではあるが、オンライン面接もスムーズに行うことができた。

秋の教師検定試験は正教師が中心となる。正教師試験の受験者は46名、転入試験受験者が2名、Cコース継続受験者を含む補教師受験者が7名与えられた。祈りつつ、神さまのご用のために仕え

ていきたいとこれだけの受験者が与えられたことは日本基督教団の喜びとして感謝したい。教師検定試験は事前の提出試験、学科試験、面接試験を通して行われる。事前の提出試験では、旧

約新約それぞれの説教・釈義を求める。ここ数年の傾向であるが聖書の説明に終始してしまうものが少なくない。また神学的な手続きなしに一足飛びに十字架と復活に結びつける説教も多く見受けら

れた。説教者の主張が先に立ち、それに合わせて聖書を語るような説教もあった。これらは説教そのもののより、釈義および黙想の深まりが不十分なこと起因するものと思われる。説教準備に追われ、み言葉を深く味わい聞く経験が不足しているであろう。

レポート提出となった学科試験では、教憲・教規、旧約聖書神学、新約聖書神学、教会史が課せられる。準備期間がもうけられるレポート提出であるために、試験会場での筆記試験に比べ整えられた解答が多かった。ただしどの科目にも言えることだが、受験者が問題を十分咀嚼してレポート作成しているとは必ずしも言えない。問題を受け取った後、受験者はキー

ワードを見いだし辞書・辞典、参考文献の索引にあたることからレポート作成に当たっていることが見受けられる。この時代であるからインターネットで検索したものを援用したレポートも少なからずあった。レポート形式ということでもあり、参考文献や引用元も明らかにされることか

らその是非は問わない。しかし参考文献をそつなくまとめただけという答題であることが、多くの教区より報告された。また、昨年から新型コロナウイルス感染症の拡大は、すべての教区に大きな影響を及ぼした。この感染症は、多くの教会に礼拝をはじめとする教会活動に大きな制約を加え、教会の財政のみならず、教区の活動や財政にも大きな影響を与え、教区の多くの集会が中止や延期を余儀なくされたことが、各教区財務委員長より報告された。それで、多くの教区では、この状況に対応するため、負担金の減額を実施する等の様々な対策がなされている。ただ、各教区における厳しい財務状況は、この感染症が拡大する以前からの課題であり、多くの教区において、これからの教区の体制や、財政の在り方など

全国財務委員長会議・予算決算委員会

各教区の厳しい財政状況をオンラインで共有

《全国財務委員長会議》
昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため中止された全国財務委員長会議が、9月24日に開催された。従来、この会議は、二日間の日程で行われていたが、この度は、オンライン会議で、半日の日程で開催され、沖縄教区を除く16教区の参加があった。

秋山徹総幹事の挨拶の後、この会議に参加した16教区の財務委員長より、各教区の財務状況報告が行われた。やはり、各教区において、毎年、信徒数が減少し、それに伴う財務状況の厳しさが増していることが報告された。そのような中でも、教区全体の活動費を確保するための様々な工夫がなされていることや、増加傾向にある互助のための資金の確保が財務の課

題であることが、多くの教区より報告された。また、昨年から新型コロナウイルス感染症の拡大は、すべての教区に大きな影響を及ぼした。この感染症は、多くの教会に礼拝をはじめとする教会活動に大きな制約を加え、教会の財政のみならず、教区の活動や財政にも大きな影響を与え、教区の多くの集会が中止や延期を余儀なくされたことが、各教区財務委員長より報告された。それで、多くの教区では、この状況に対応するため、負担金の減額を実施する等の様々な対策がなされている。ただ、各教区における厳しい財務状況は、この感染症が拡大する以前からの課題であり、多くの教区において、これからの教区の体制や、財政の在り方など

の検討がなされている。そして、次の会議は、各教区の実情や教団財政の課題等についての十分な意見の交換の場を持てる会議にして欲しいとの要望も出された。

は、各教区の財務状況を考慮し、事業活動収入の「教区の負担金」を10%削減することを中心とするものである。このため、事業活動支出は、2020年度決算をもとに、8月末までの予算の執行状況を考慮して、主に常設委員会費や宣教関係費を2019年度比60%減の2020年度補正予算とほぼ同額とした。2022年度予算では、事業活動収入は2億6900万3000円となり、事業活動支出は2億6940万1000円で、39万8000円の差損となる。これに投資活動収支差額50万円を加え、2022年度予算全体の収支差額は10万2000円の差益となるが、かなり緊縮した内容の予算となっている。

2021年秋季(レポート試験)・正教師検定試験問題

教憲教規および諸規則・宗教法人法

次の2題に答えてください(両方で1600字程度)。

1. 教憲第1条には、教団の信仰告白を「奉じる」とあります。教団信仰告白制定当時の歴史的経緯を踏まえた上で、この言葉の意味するところを説明してください。
2. 宗教法人上の「宗教団体」の規定において、特に欠かせない重要な要件と思われるものを被包括団体と包括団体とに分けて説明してください。また宗教法人法上の「宗教団体」となっていない宗教団体の宗教活動の是非について述べてください。

旧約聖書神学

次の2題を、旧約聖書の聖書箇所をいくつか挙げつつ、それぞれ1500字程度で神学的に論じてください。なお、参考にした文献やそれに伴う註も明記してください。

1. モーセ五書における聖所の変遷について
2. バビロン捕囚後のイスラエル伝統体制の回復について

新約聖書神学

次の2題を、新約聖書の聖書箇所をいくつか挙げつつ、それぞれ1500字程度で神学的に論じてください。なお、参考にした文献やそれに伴う註も明記してください。

1. 共観福音書とヨハネによる福音書の共通点と独自性について
2. パウロ書簡におけるキリストの再臨について

教会史

次の問に答えてください(3000字程度)。

- ◎初代教会以来、教会が被った迫害について概観しつつ、戦時下の日本基督教団における第六部・第九部弾圧との類似性と特殊性を論じてください。

れぞれが労苦し伝道牧会に励んでいる姿がにじみ出ている。主のために労苦をいとわない教師が立てられていくことは、日本基督教団にとって幸いなことである。

教師検定試験終了後、第13回教師検定委員会を開催した。今回の教師検定試験の振り返り、2022年春季教師検定試験の予定の確認、提出試験の確認などを行った。

2021年度第2次補正予算は、開催が2022年に一年延期された第42回教団総会の準備のため、第15回常議員会が、10月25・26日にメトロポリタンホテルで行われるので、そのための経費として事業活動支出第1款第1項「常議員会費」を250万円増額するものである。

2022年度予算案(宇田 真報)

2021年東北地方地震被災教会会堂等再建支援委員会 東北教区・関東教区10被災教会の声

東日本大震災から10年。今年2月13日、福島沖で震度6強という大きな地震が再び起こり、多くの教会が再び痛手を負った。第14回常議員会で「2021年東北地方地震被災教会会堂等再建支援委員会」が設置され、東北教区、関東教区の10被災教会へ1300万円を募金目標額として支援活動をスタートした。その中で委員会として被災教会にインタビューし、各教会の声を聞くことになった。



足場を組み、2階の外壁を補修

信夫教会に尋ねて

第1回目は9月21日、福島駅から徒歩で10分ほどの所にある信夫教会にオンラインで話を聞いた。今回は2021年東北地方地震被災教会会堂等再建支援委員会より、篠浦千史、黒沼宏一、河田直子の各委員、オブザーバーとして保科隆東北教区議長が参加した。信夫教会からは佐藤秀吉牧師と役員荒木紀子さんが出席し、被害状況とその後の補修状況を聞いた。被害は外壁、特に2階の窓近辺の亀裂、教会と牧師館の間の亀裂がひどく、また女子トイレの損傷も激しかった。幸い基礎部分に問題はな

く、補修だけで済むとのこと。ただ木造建築のため、梅雨前に補修が完了することが望ましいとのことだった。2階の外壁であることから足場が必要で、約1ヶ月の工事の後、5月末に工事は完了した。工事には、足場の費用も含めておよそ200万円かかったとのことである。

地震直後の礼拝で、会堂内の備品はそのまま使える状況だったのは幸いだった。ただ見上げると会堂の天井部分には損傷が見られた。また食器棚から食器が崩れ落ちて割れてしまい、押入れの中は物が散乱し、その後片

付けにはかなりの時間を要した。その散乱状況は、10年前の東日本大震災の時よりもひどかったそうだ。前回と揺れの方角が違ったのが被害状況に影響しているかもしれない。福島市内でも、被害状況は場所によって違うようで、信夫教会は比較的大きな被害が出た地域にあった。教会近隣に住の教会員2名も被害を受けた。

今回の地震は建物だけで済み、水道電気といったライフラインが止まることがなかったのは不幸中の幸いだったと佐藤牧師は語った。最後に、佐藤牧師に教団への要望を求めたところ、「東日本大震災の時、教団は速やかに行動してくださり、被害は大きかったが、自分たちの背後に教団に属する全ての教会の祈りを感じることができた。しかし、今回は2月の地震後、教団の動きが後手に

東北地方地震被災教会支援募金

郵便振替口座

◎口座名 日本基督教団

◎口座番号 00140-9-145275

通信欄に「東北地方地震被災教会支援」とご記入ください。

第61回「キリスト教教育主事」 認定試験公告

第61回(2022年)「キリスト教教育主事」認定試験を次のとおり行います。

※今回、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、試験会場での実施を中止しました。

筆記試験をレポート試験に、会場での面接をオンライン面接に変更して実施いたします。

◆受験願書提出期限 2021年12月13日(月)
(提出物1〜7を教区に提出)

◆論文提出期限 2022年2月4日(金)
(試験科目ハの論文・教団教育委員会に提出)

◆レポート提出期限 2022年2月25日(金)
(試験科目イのレポート・教団教育委員会に提出)

◆面接試験日時 2022年3月4日(金)
午前10時〜 オンラインによる面接試験

◆試験科目
イ、レポート試験 日本基督教団教憲、教規および諸規則についてのレポート(メール提出可)

※提出期限1週間前、2022年2月18日(金) 午前中にEメールにて設問をお知らせします。

ハ、論文 400字詰め原稿用紙15〜20枚
「日本におけるキリスト教教育の歴史と展望」

◆提出物
◎以下の書類を整え必ず期限までに教区事務所に提出してください。

1. 受験願書・所属教会主任教師の推薦書 ……1通

2. 履歴書・信仰歴 ……1通

3. 教区の推薦書 ……1通
(以上は教育委員会所定のもの)

4. 出身学校校長の推薦書 ……1通

5. 出身学校成績証明書 ……1通

6. 「私はなぜキリスト教教育主事をめざすのか、召命との関連で」記述書 400字詰め原稿用紙2枚程度

7. 受験料 5,000円
教育委員会所定の用紙は、教団教育委員会宛に、住所、氏名を記した返信用封筒に120円切手を添えて請求してください。

◆問い合わせ

日本基督教団教育委員会 〒169-0005
東京都新宿区西早稲田2-3-18
TEL03-3202-0544
2021年10月
日本基督教団教育委員会 委員長 増田将平



杉本 健二さん

戦争を繰り返さないために



1975年生まれ。仙台北教会員

キリスト者の家庭で育った杉本健二さんが、自ら教会に通うようになったきっかけは、高校3年生の頃、アメリカ留学中の体験だった。キリスト教の本場で、篤い信仰に生きていると思っていた教会は、町内会の集まりのようなものだった。教会のあるべき姿に関心を持った杉本さんは、帰国後、仙台北教会に通い始め、間もなく受洗した。

当時チェコは共産主義が崩れ、自由な言論や経済活動が認められて行く変化の時代。歴史家たちはドイツから受けた被害のみに注目するのではなく、ドイツが敗退する際、スデーテン地方のドイツ系住民をバイエルン地方に追放した自らの負の歴史にも光を当て歴史を語り直そうとしていた。歴史を、愛国ナルシズムから来る自国礼賛のために語るのではなく、負の側面も含めて客観的かつ謙遜に受け止める姿勢に強く共感した。

父と同じく教師の道に進むことを決めた杉本さんは、現在、茨城キリスト教学園に務める。「戦争という過ちを繰り返さない」との信念を持ち、歴史を学ぶことの意義を伝えるべく教壇に立つ。

学校は、キリスト教主義だが、キリスト者の教職員は多くない。杉本さんは、自らの信仰について積極的に語り、その言葉に恥じないよう励むことで証しをしようと心掛ける。また、自らが高校時代に励まされた聖句、「主に望みをおく人は新たな力を得る(イザヤ40・31)」を、受験に挑む生徒たちに贈っている。

秋の季節に小平にある東京教区・西東京教区の共同墓地で墓前礼拝並びに納骨式が行われ、例年200〜300名が集まるとのことです。今年はコロナ禍であって、納骨を希望する人たちの集まりとなり、そこで説教奉仕をさせていただくことになっています。

この2年近くの状況は、この時期に臨終の時を過ごされ、召された方々とその家族にとって、また、それぞれの教会にとって、大きな痛みとなりました。亡くなられた方々の多くが、教会での葬儀、信仰共同体での別れと送りができなかったのです。教会の葬儀の時は教会にとっても、家族にとっても、また、そのために集まる人々にとっても、中々死の時を迎え、火葬に付される事態となったのです。いわば一人の人間の死を、一切の輝きをほき取りシートに包んで投げ出すような過酷な事態となったのです。

コロナ禍での墓前礼拝

この時にこそ、教会共同体が、主イエス・キリストにあって与えられる希望の約束を確認し、その信仰をもってこの時を耐え抜き、御国の栄光にあずかる望みを確かにする、このこそ、教会がなすべき重要な務めだと思えます。

(教団総幹事 秋山 徹)